

第27回 れんげテニス大会

【主催】 日本女子テニス連盟 岐阜県支部
 【共催】 各務原市テニス協会
 【後援】 岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
 【協賛】 (有) スポーツジロー
 【大会委員長】 藤原 ちえみ
 【ディレクター】 安藤 千賀子 090-6084-0244(問い合わせ先)
 【レフェリー】 牧村 洋子
 【大会委員】 梅田 宗子 大野 聖代 河合 クミ 白岩 美幸
 【会場】 岐阜車体スポーツ広場
 【日程】 2026年11月9日(月) 予備日 11月16日(月)

☆受付 午前8時30分～8時55分
 ☆開会式 午前9時より 終了後試合開始

【種目】 女子ダブルス A級・B級 (50歳以上)
 【試合方法】 すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用
 本戦 6ゲーム先取、コンソレーション 6ゲーム先取(敗者ボール使用)
 ウォームアップはサービス4本とする
 セルフジャッジ フェイスマスク着用不可

【使用球】 DUNLOP FORT (敗者持ち帰り)
 【服装】 テニスウェアを着用
 長ズボン可、ロゴ規定なし

【その他】 本大会はすべてのプレイヤーを公平に扱います
 試合中に発生した傷害についてはその場で対応はしますが、それ以後の責任は負いません
 天候等やむを得ない事情により変更されることがあります
 ◎天候不良により中止や緊急の連絡はJLTF岐阜県支部ホームページに掲載します

この大会で得た個人情報は大会以外の目的には使用しません。

歴代優勝者

第1回	木原マチ子 ・ 武市彰子	
第2回	葛西文代 ・ 加藤君子	
第3回	葛西文代 ・ 山田美江子	
	A 級	B 級
第4回	鈴江明美 ・ 中川輝美	牧村洋子 ・ 山本歌子
第5回	鈴江明美 ・ 舘文子	小椋千代子 ・ 吉田喜巳子
第6回	福田由美子 ・ 山根福子	高木清子 ・ 永田照子
第7回	住アツ子 ・ 山本歌子	横山久恵 ・ 毛利京子
第8回	藤原ちえみ ・ 石井三代子	久納智子 ・ 高桑陽子
第9回	中村芳子 ・ 今村芳子	小林かよ ・ 山田典美
第10回	渡辺珠美 ・ 今村芳子	小池礼子 ・ 三枝英子
第11回	渡辺珠美 ・ 今村芳子	安田尚子 ・ 黒田佳子
第12回	渡辺珠美 ・ 今村芳子	柴垣尚子 ・ 小島聡美
第13回	渡辺珠美 ・ 今村芳子	渡辺真澄 ・ 高橋美由紀
第14回	三鴨緑 ・ 藤井敦子	田口美智子 ・ 林智美
第15回	梶田恵 ・ 白岩美幸	佐藤敦子 ・ 名和恭子
第16回	久納智子 ・ 高桑陽子	加藤千恵子 ・ 小島一見
第17回	梶田恵 ・ 亀村千穂	和田美和子 ・ 兼松こずえ
第18回	浅野美恵 ・ 鈴木聡美	中嶋美佐子 ・ 井平早百合
第19回	藤井敦子 ・ 三鴨緑	小路さおり ・ 加藤桂子
第20回	今井智美 ・ 竹内文恵	山口育子 ・ 曾我真由美
第21回	今井智美 ・ 竹内文恵	中島ひとみ ・ 加藤知子
第22回	倉知尚代 ・ 永田寿子	脇田寿美子 ・ 堀由美
第23回	倉知尚代 ・ 永田寿子	岩田礼子 ・ 青木千鶴
第24回	倉知尚代 ・ 永田寿子	加藤綾 ・ 長江光子
第25回	加藤万由弓 ・ 鈴木聡美	堅田恭子 ・ 熊田亜希子
第26回	梶田恵 ・ 松下祐紀	古林真紀 ・ 山下恭子

☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイプレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。選手同士その時点のスコアを確認する。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 判定とコールは、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、1 人の選手が行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサーブを、1 人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サーブの）レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールした選手が「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球がアウトした場合は相手への妨害が起こっていないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両選手・チームが判定とコールをすることができる。
7. サーブのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った選手・チームの失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った選手・チームの得点。
ポイントが終了した後で、インプレー中に妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は、第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合、相手選手がプレーを妨害したと判断した場合、「レット」をコールすることができる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れたい時
 - ・相手選手の言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時（緊急を要する場合は直ちに）、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。
12. レフェリー、ロービングアンパイアは、コート内外からフットフォールトのコールや選手の判定をオーバールールできる。コート外からのオーバールール時の対応は、セルフジャッジについての「5.」と同じ。コート内での場合は 1 回目であっても失点する。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ロービングアンパイア(コート付近の通路にいます)を呼んでください。

第27回「れんげテニス大会」A級

2026. 11. 9

(A)

SF



第1シード 梶田 恵・松下祐紀

第2シード 西脇佐和子・工藤 栄子

第3シード 亀村 千穂・中嶋美佐子

第4シード 永田 寿子・倉知 尚代

第5シード 原 美 幸・佐々木 美枝

第6シード 野口 純子・皆川 陽子

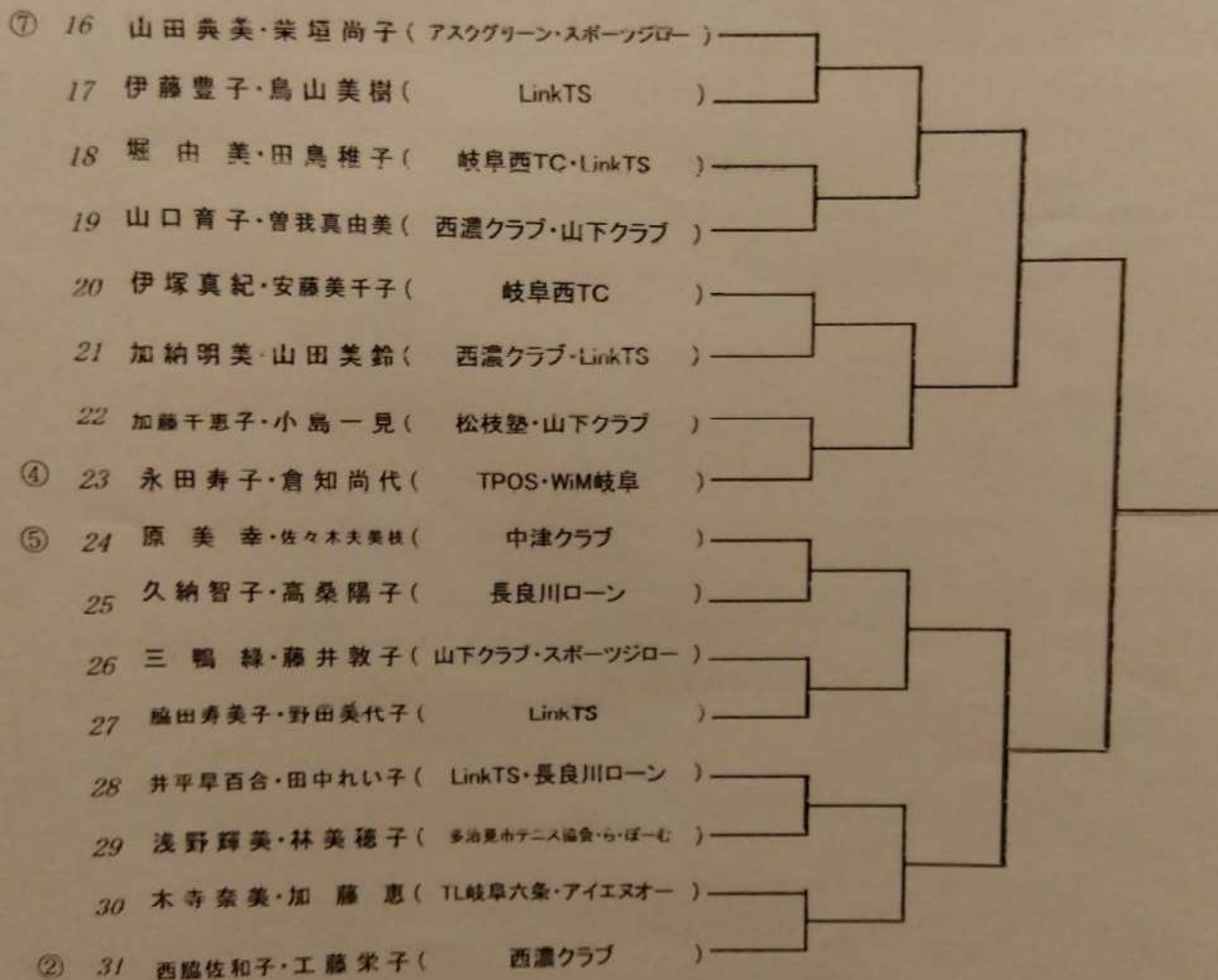
第7シード 山田 典美・栗垣 尚子

第27回「れんげテニス大会」A級

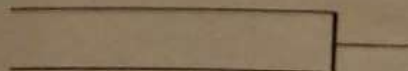
2026. 11. 9

(B)

SF



決 勝

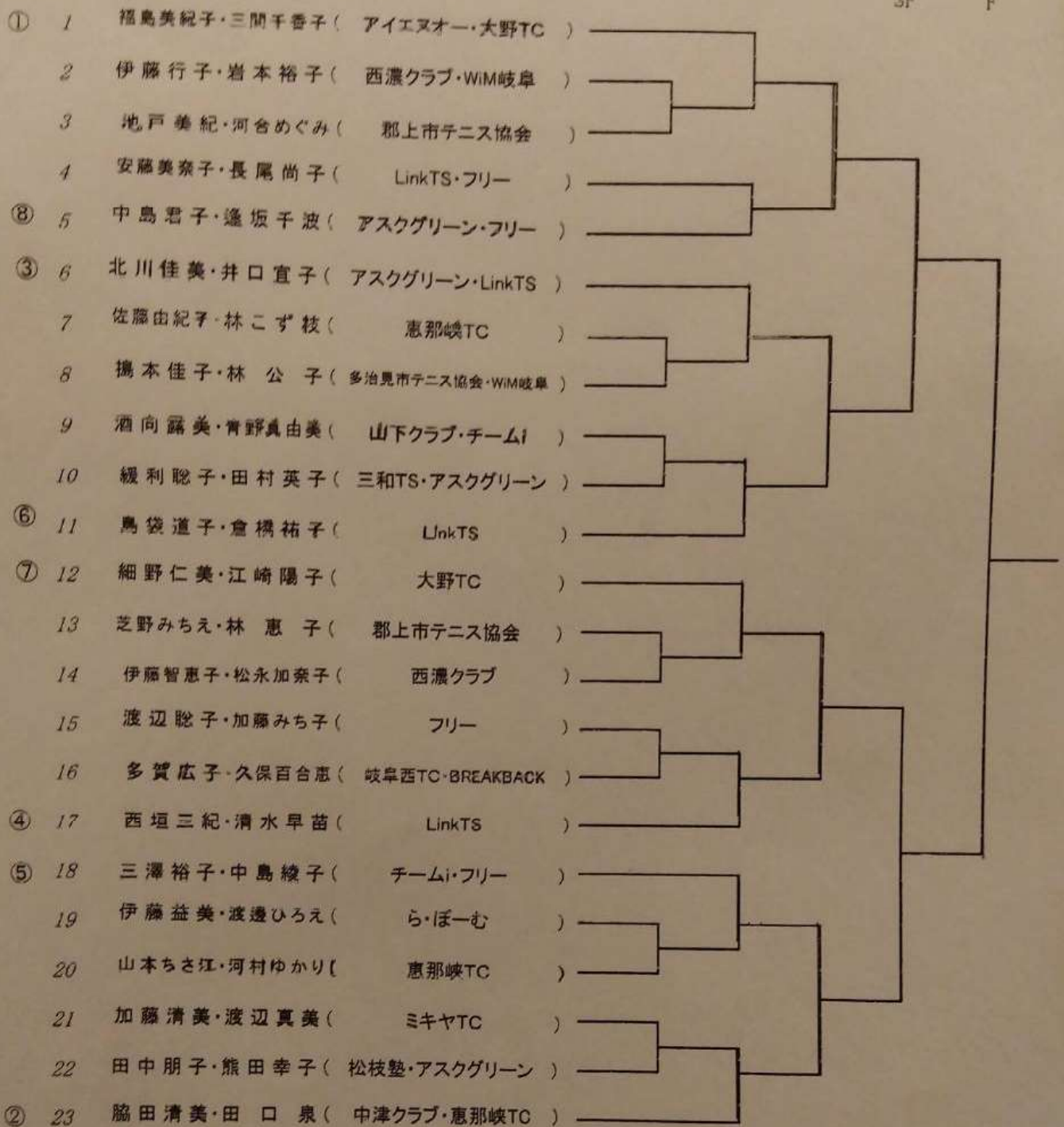


第27回「れんげテニス大会」B級

2026・11・9

SF

F



第1シード 福島美紀子・三間千香子

第2シード 脇田清美・田口泉

第3シード 北川佳美・井口宜子

第4シード 西垣三紀・清水早苗

第5シード 三澤裕子・中島綾子

第6シード 島袋道子・倉橋祐子

第7シード 細野仁美・江崎陽子

第8シード 中島君子・逢坂千波